

第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)

東北大会 要項

- 1 主 旨 公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟は日本の将来を担うユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名 称 第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)東北大会
- 3 主 催 一般社団法人東北サッカー協会、東北クラブユースサッカー連盟
- 4 主 管 青森県クラブユースサッカー連盟、岩手県クラブユースサッカー連盟
秋田県クラブユースサッカー連盟、宮城県クラブユースサッカー連盟
山形県クラブユースサッカー連盟、福島県クラブユースサッカー連盟
- 5 期 日 2024年6月15日(土) ～ 7月7日(日)
- 6月15日(土) トーナメント一回戦 or 二回戦
6月16日(日) トーナメント二回戦
6月22日(土) トーナメント三回戦
6月23日(日) トーナメント四回戦
7月6日(土) インターシティトリムカップ代表決定戦
7月6日(日) 準決勝
7月7日(土) インターシティトリムカップ第4代表決定戦
7月7日(日) 三位決定戦、決勝
- 6 代表者会議 各会場運営本部にて、当該試合70分前に代表者による打合せを行う。
- 1) 試合ごとのメンバー表を提出しユニフォームのチェックを行う。
2) 大会登録選手の選手証を持参し、会場運営本部に提出すること。
3) 登録選手の変更がある場合は登録選手変更申請書の提出も行う。
- 7 会 場 青森県八戸市 多賀多目的運動場
東運動公園陸上競技場
岩手県八幡平市 安比高原ASPAサッカー場
秋田県男鹿市 OGAマリンパーク球技場
宮城県利府町 みやぎ生協めぐみ野サッカー場
山形県天童市 山形県総合運動公園サッカー場
福島県須賀川市 福島空港公園多目的運動広場
- 8 出場チーム 東北地域代表40チーム
青森(6)、岩手(4)、秋田(5)、宮城(10)、山形(6)、福島(9)

9 出場資格 日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なお且つ日本クラブユースサッカー連盟に加盟登録したチームであること。

1) 本大会登録選手は他のクラブチームおよび中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。

2) 本大会登録選手は2009（平成21）年4月2日以降の出生者を対象とする。

3) 出場チームの同一下部組織第4種（日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ）登録選手に限り、種別変更（移籍）せず第4種登録選手のままの出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。

4) 本大会登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。

5) 予選から本大会に至るまでに、一つのチームで大会メンバー登録した選手は、異なるチームへ移籍後再び大会メンバー登録することはできない。なお都道府県内の大会で予選名が付されていない場合であっても、その大会が実質的に予選を兼ねている場合は、その大会は予選と同じ扱いとなり上記を適用する。

10 表彰 優勝・準優勝・第3位にそれぞれ表彰状及びカップを授与する。
個人賞として、優秀選手及び最優秀選手、得点王、ベストGK賞を授与する。

11 参加費 **30,000円**

12 その他 本大会上位3チームは、第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に出場する資格を得る。

4位～7位の4チームはJCYインターシティトリムカップ(U-15)EAST2024に出場する資格を得る。

第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)

東北大会 大会規定

■競技方法

1. 40チームでトーナメント戦を行う。
2. ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則 2023/2024」による。
3. 試合時間は80分とする（ハーフタイムは10分）。競技時間内に勝敗が決定しない場合は、ペナルティキック方式により勝敗を決定する。但し、インターシティトリムカップ決定戦、準決勝、三位決定戦、決勝戦においては5分間の休憩後20分の延長戦を行い、なお決定しない場合はペナルティキック方式により勝敗を決定する。
4. 警告・退場
 - 1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
 - 2) 大会期間中に警告を2回受けた選手等は次の1試合に出場できない。
 - 3) 一回戦から四回戦における警告処分は、準決勝に持ち越さないものとする。但し、一回戦から四回戦における出場停止処分が未消化の場合は、準決勝に持ち越され適用される。

(例) 四回戦に累積2回目の警告を受けた選手は、準決勝には出場できない。
 - 4) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会にて決定する。
5. 大会登録用紙提出後に登録選手の変更をする場合は、各チーム最初の試合前に3名以内を認める。但し、登録選手変更申請書に記入の上、**各チーム最初の試合の打ち合わせの時（代表者会議）**にて各会場運営本部に原本を提出し、コピーを毎試合ごとに対戦相手に渡す。試合毎の登録は交代選手を含め20名までとし、うち5名までの交代を認める。インターシティトリムカップ出場戦及び準決勝以上において延長戦に入った場合は、1名交代選手の追加を認める。但し、ペナルティキック方式での適用は認めない。尚、メンバー表は**試合開始70分前までに**各会場運営本部へ3部提出する。また、試合毎のメンバー表提出後に、怪我等の特別な理由により登録選手が当該試合へ出場することが不可能であると、当該競技責任者が判断した場合のみ、登録内容を変更することが出来る。
6. 選手の用具・ユニフォームチェックについて
 - 1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - 2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。（GKはFPと色彩の異なる正・

副 2 セット)

- 3) ユニフォームチェックは、**試合開始70分前**に各会場大会本部において行う。
そのユニフォームは、正・副の両方を会場に持参すること。
 - 4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - 5) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - 6) ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GKを含む）。また、ショーツの番号については付ける事が望ましい。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
 - 7) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
 - 8) 本競技会に登録し大会初戦で着用したユニフォームからの変更は認められない（広告等を含む）
7. ユニフォームに表示する広告は、日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
※日本サッカー協会ユニフォーム規程第 10 条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。
但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
8. 不都合な行為があった場合の処置については、大会運営委員会にて決定する。その後の処置については大会規律委員会にて決定する。
 9. チームスタッフ及び選手登録は、スタッフ5名以内、**中学生の選手11名以上で15名以上30名以内**とする。
10. 選手交代回数の制限について
- 1) 選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。（1回に複数人を交代することは可能）
 - 2) 前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
 - 3) 試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越す。
 - 4) 脳震とうによる交代については交代回数・人数にカウントしないこととし、交代人数をすべて使い切った後の再交代も可能とする。
11. 暑熱対策について
- 1) 原則としてWBGTに関わらず飲水タイムを設ける。
 - 2) 各試合開始30分前の測定で、WBGT 31℃以上の場合、試合開始時間を遅らせたり、試合を行わず中止とする場合がある。中止とする場合は、一回戦より四回

戦までは6月29、30日を利用し検討する。また、インターシティトリムカップ決定戦でWBGT 31℃以上で中止の場合は7月7日を利用し検討する。準決勝でWBGT 31℃以上で中止の場合は7月7日を利用し検討する。インターシティトリムカップ第4代表決定戦は翌週（13日～15日）を利用し検討する。また、三位決定戦、決勝戦に於いてWBGT 31℃以上で中止の場合は翌週（13日～15日）に三位決定戦のみ行い、決勝戦は行わず抽選とする。尚、複数日に中止の場合は別途対策を考慮する。なお、中止とせずに試合を実施する場合は、JFAの熱中症対策（Cooling Break）を行った上で、実施する。

3) 三位決定戦、決勝戦において、前後半終了時に同点の場合、延長戦前の測定でWBGT31℃以上の場合は、延長戦は行わずペナルティキック方式を行う。

1.2. 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

1) 全ての試合が、後半25分を経過していない状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討する。試合再開は中断時から試合を再開し、選手は中断時の選手とする。なお、試合再開が不可能な場合は次のとおりとする。

イ) 一回戦より四回戦までは、6月29、30日を利用し検討する。

ロ) インターシティトリムカップ代表決定戦の場合は7月7日を、インターシティカップ第4代表決定戦は翌週（13日～15日）を利用し検討する。

ハ) 準決勝の場合は、7月7日を利用し検討する。

二) 三位決定戦、決勝戦の場合は翌週（13日～15日）に三位決定戦のみ行い、決勝戦は行わず抽選とする。

2) 一回戦より四回戦までの試合が、後半25分を経過した状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討するが、再開が不可能な場合は、その時点の成績で試合成立とする。

3) 準決勝、三位決定戦、決勝戦の試合が、後半終了し同点で延長戦を行う事が難しい場合は、延長戦を行わず、ペナルティキック方式を行う。

1.3. 大会の開催の可否について

1) 開催地の知事、市長等から開催自粛要請があった場合は、該当する地域で開催できないため代替地開催を検討する。代替地を用意できない場合は抽選にて上位進出チームを決定する。

2) 開催不可の判断時期は地域の事情によるものとする。

1.4. 感染症対策等の影響による試合の取扱いについて

1) 対戦するチームについて、片方のチームが感染症対策等により当日の試合登録メンバーが7人未満の場合は当該チームを不戦敗とする。

2) 対戦するチームについて、両方のチームが感染症対策等により当日の試合登録メンバーが7人未満の場合は抽選にて上位進出チームを決定する。

1.5. その他

1) 試合球はモルテン社製「ヴァンタッジオ 5000」、「ヴァンタッジオ 4950 芝用」、「ヴァンタッジオ 4900 芝用」、「ペレーダ 5000 芝用」のいずれかを、各チーム同

モデル2球の持ち寄りとし上位のボールをメインで使用する。各チームで用意するにあたり「ヴァンタッジオ 5000」を推奨。準決勝、三位決定戦、決勝については「ヴァンタッジオ 5000」を大会本部で用意し使用する。

- 2) チームベンチへの入場は、事前に登録されたスタッフ・選手の中から、**スタッフ5名以内、選手20名以内とする。**
3. チームベンチは、第4審席からグラウンドに向かって左側ベンチを組合せ表の番号の少ない方のチームが入り、対戦チームを右側とする
- 4) 登録選手は、必ず全員傷害保険に加入していること。
- 5) 試合会場での応急処置は主催者側で行なうが、それ以降はチームにて行なうこと。
- 6) 対戦チームは、試合開始5分前に4審席に集合し審判員の指示に従う。
- 7) 大会要項に規定されていない事項については東北大会運営委員会に於いて協議の上決定する。

1 6. 組合せ抽選

2024年6月2日（日）に抽選会により決定する。

1 7. 参加申込提出期限

5月29日(水)まで東北クラブユース連盟大会事務局まで提出のこと。